



納官小学校、国上小学校での田植え体験学習



4月10日に納官小学校、4月12日には国上小学校の学習田において、各校の児童が田植え体験学習を行いました。

国上小学校では戸川指導員から苗の植え方の説明があったあと、少し肌寒い中でしたが児童たちは裸足で田んぼに入り昔ながらの印の付いたロープを使用し田植えを行いました。泥だらけになりながらも、一生懸命に一つ一つの苗をPTA会員らとともに賑やかに植えていました。

児童からは「ぬるぬるしてるけど田んぼの中は気持ちいい！」や「早く新米が食べたい！」との感想が聞かれました。

これから収穫までしっかりと観察をして、お米ができるまでの過程を楽しく学んでほしいと思います。

両校では収穫した米を餅つき大会等で使用する予定です。



花き目揃え会を開催～種子屋久農協花き振興会～



種子屋久農協花き振興会は、4月16日に南種子町の長谷集荷場で令和6年度の花き目揃え会を開催しました。

会の冒頭には、県経済連果樹花き課の白木佑典担当より花きの情勢報告が行われ、レザーリーフファンやフェニックスロベレニーはまだまだ市場からの強いニーズがあり、きちんと供給していかなければ他の商材に替わる可能性も

あることから、産地として危機感を持ち、ニーズに応え供給量を増やすよう取り組んで欲しいと呼びかけました。

また、JAの大坪浩明指導員が出荷要領や出荷基準について出席者に説明したのち、出荷されたものの中から選んださまざまな等階級のレザーリーフファンやフェニックスロベレニーを用いて、生産者とともに選別基準の確認や梱包方法の確認も行いました。

令和元年に花き振興会が1つにまとまって以降、感染症対策などもあり大規模な集合研修ができずにいましたが、今回初めて一堂に開催できました。

生産者の皆さんは、どの地区からの出荷であっても同じ選別基準、同じ品質を守っていただき、かごしまブランドやGI登録産地として、さらにブランド力を高めていきましょう。

レザーリーフファンは、5月12日の母の日に向けアレンジメントや花束などへの需要が増えるため、生産者へ呼びかけ40万枚の出荷を計画しています。



双子座
5/21
～6/21

【全体運】 観劇やコンサートを楽しめます。友人と出かければ会話も盛り上がり、仲も深まりそう。仕事は下旬から効率アップ
【健康運】 友人と一緒に話題の健康法を試してみよう
【幸運を呼ぶ食べ物】 カブ